

Ⅱ 火災の概要

1. 火災の概要

(1) 出火件数と出火率

平成19年の出火件数は、462件で、前年に比べ22件（4.5%）減少した。

全都道府県中では、第37位となっている。また出火率（人口1万人当たりの出火件数）は3.24件となっており、全国平均（4.30件）に比べ1.06件下回っている。

火災種別ごとの出火件数は、建物火災が260件（56.3%）で最も多く、その火元用途は、住宅が110件で最も多くなっている。又、林野火災は14件で前年に比べ、3件減少した。

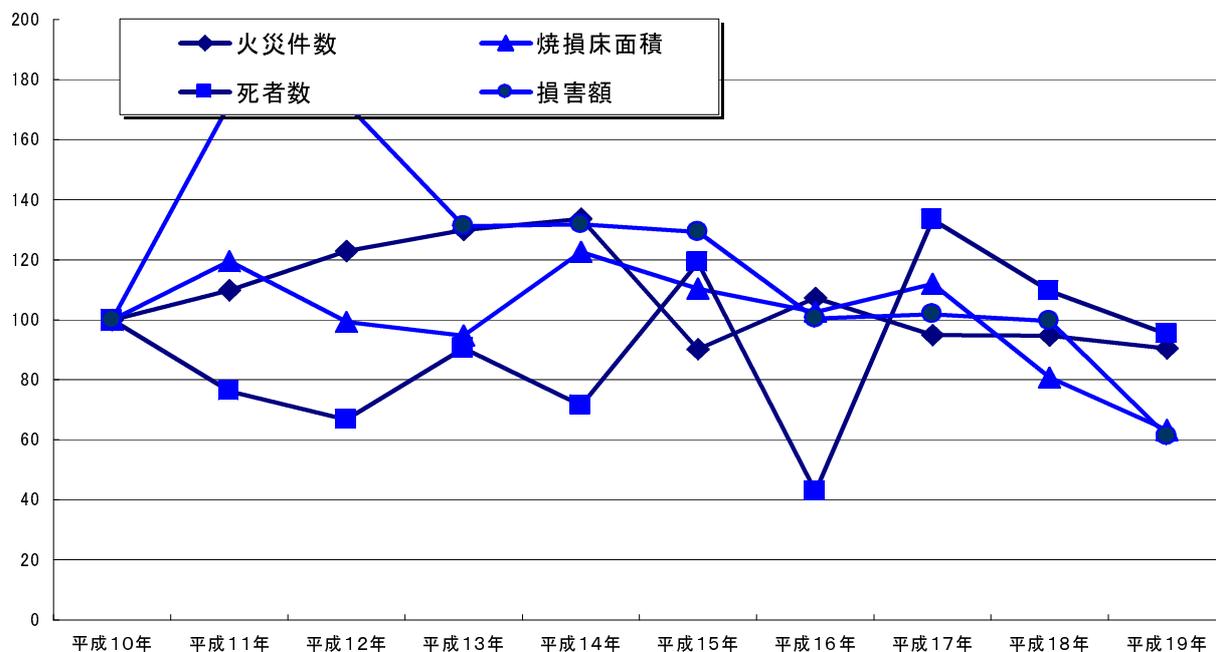
一日当たりの出火件数は1.3件（前年1.3件）で、無火災の町、村は三郷町、河合町、黒滝村、天川村、三宅町、十津川村の3町3村である。

火災種別出火件数

区 分	単位	平成19年	平成18年	前 年 対 比	
				増 減 数	増 減 率
建 物 火 災	件	260	321	-61	-19.0%
林 野 火 災	件	14	17	-3	-17.6%
車 両 火 災	件	51	70	-19	-27.1%
そ の 他 火 災	件	137	76	61	80.3%

火災の傾向

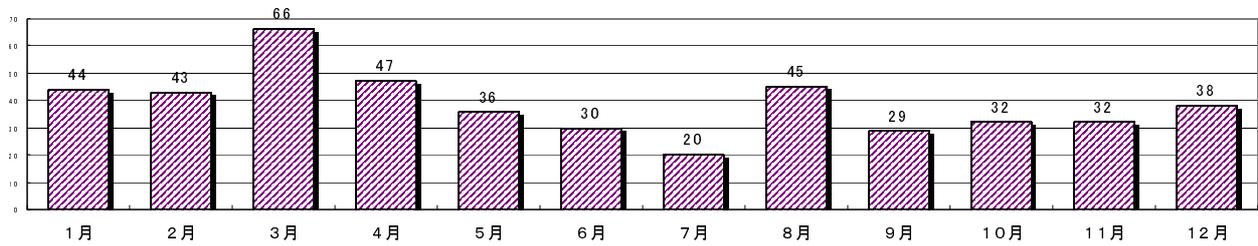
(平成10年 = 100)



(2) 月別出火状況

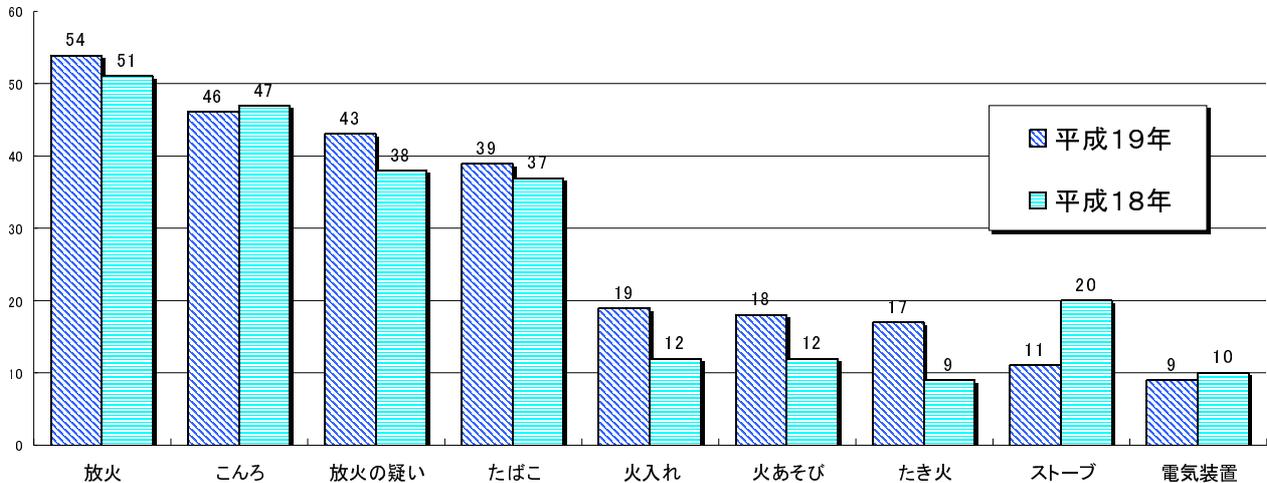
月別の出火件数は、3月が66件（全体の14.3%）で最も多く、次いで4月の47件（10.2%）、8月の45件（9.7%）となっており、最も少ない月は7月の20件（4.3%）である。

月別出火件数



(3) 出火原因

出火原因の大半は放火や火の不始末、不注意から発生している。平成19年中の出火原因の第1位は「放火」による火災が54件（11.7%）、第2位が「こんろ」によるもので46件（10.0%）、第3位は「放火の疑い」によるもので43件（9.3%）となっている。



(4) 焼損棟数と焼損面積

平成19年中の火災の建物焼損棟数は351棟で前年に比べ73棟（17.2%）減少し、そのうち全焼は74棟（前年98棟）で焼損棟数合計の21.1%を占めている。

建物焼損床面積は11,765㎡で焼損表面積は1,320㎡であった。林野焼損面積は188aで前年に比べ2a減少した。

焼損棟数と焼損面積

	建 物								林 野	
	建 物 火 災 件 数	焼 損 棟 数					焼 損 面 積		林 野 火 災 件 数	焼 損 面 積
		合 計	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や	床面積	表面積		
平成17年	289	438	119	33	125	161	20,826	2,056	24	212
平成18年	321	424	98	41	144	141	15,015	1,073	17	190
平成19年	260	351	74	30	122	125	11,765	1,320	14	188

(5) り災世帯とり災人員

平成19年中の火災でり災した世帯数は198世帯で前年に比べ74世帯減少し、そのうち全損は48世帯で全体の24.2%を占めている。

り災人員は506人で、前年に比べ208人減少した。

り災世帯とり災人員

	り 災 世 帯 数				り 災 人 員	1日平均 り 災 人 員
	合 計	全 損	半 損	小 損		
平成17年	324	91	22	211	915	2.5
平成18年	272	65	29	178	714	2.0
平成19年	198	48	19	131	506	1.4

(6) 死傷者数

平成19年の火災による死者は20人で前年に比べ3人減少した。

死者が生じたのは建物火災によるものが10人、車両火災によるものが5人、その他火災によるものが5人であった。

死に至った経過は逃げ遅れ2人、放火自殺7人、自殺巻き添え2人、着衣着火1人、不明・調査中8人となっている。

負傷者は74人で前年に比べ4人の減少となった。

死傷者の数

	死 者 年 齢 別													負 傷 者	
	0～10	11～20	21～30	31～40	41～50	51～60	61～70	71～80	81～	不明	計	男	女		不明
17年			2	5	3	5	5	3	5		28	14	14		74
18年	3	1		2	2	4	2	4	5		23	14	9		78
19年	2			1	4	5	1	1	6		20	8	12		74

死者の生じた火災と出火時刻

	火災種別					出火時刻						
	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	計	0～4	4～8	8～12	12～16	16～20	20～24	不明 調査中
17年	23		3	2	28	8	6	1	5	2	5	1
18年	18	1	1	3	23	5	3	2	3	3	3	4
19年	10		5	5	20	1	3	3	2	6	3	2

死に至った経過と死因

	死に至った経過							死 因					
	逃げ 遅れ	出火後 再侵入	着衣 着火	放火 自殺	その他	不明	計	火傷	一酸化 炭素中毒	打撲・ 骨折等	自殺	その他	不明
平成17年	14	2	2	6		4	28	2	20		6		
平成18年	9			5	2	7	23	2	14		5		2
平成19年	2		1	7	2	8	20	2	10		7		1

(7) 損害額

平成19年中の火災による損害額は10億3,449万円で、前年に比べ6,480万円減少した。うち建物火災は9億7,033万円で全体の93.8%を占めている。

また火災一件当たりの損害額は224万円で1日当たりに換算すると283万円が毎日灰になっていることになる。